

# 業績ハイライト（連結）

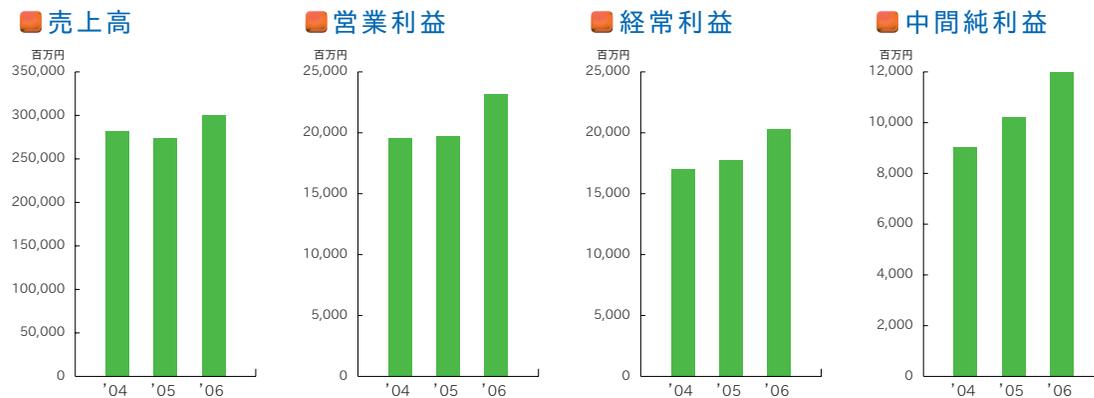
PERFORMANCE HIGHLIGHT

当中間期は、戦略事業の好調などにより、売上高、営業利益、経常利益、中間純利益が全て過去最高を更新しました。

## 業績ハイライト（中間期）

科目	2004年度	2005年度	2006年度
売上高（百万円）	281,496	274,230	300,574
営業利益（百万円）	19,530	19,719	23,198
経常利益（百万円）	17,048	17,781	20,315
中間純利益（百万円）	9,045	10,226	11,978
1株当たり中間純利益（円）	34.03	38.49	45.03

\*2006年度より「役員賞与に関する会計基準」を適用しています。

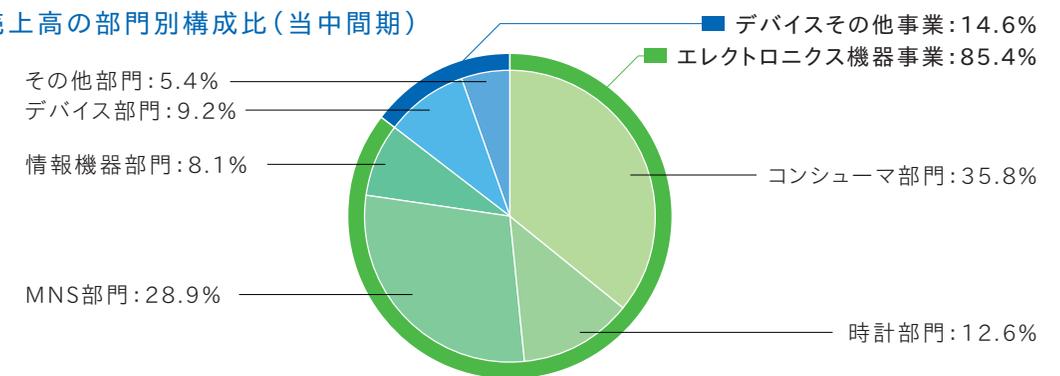


# 部門別の概況（連結）

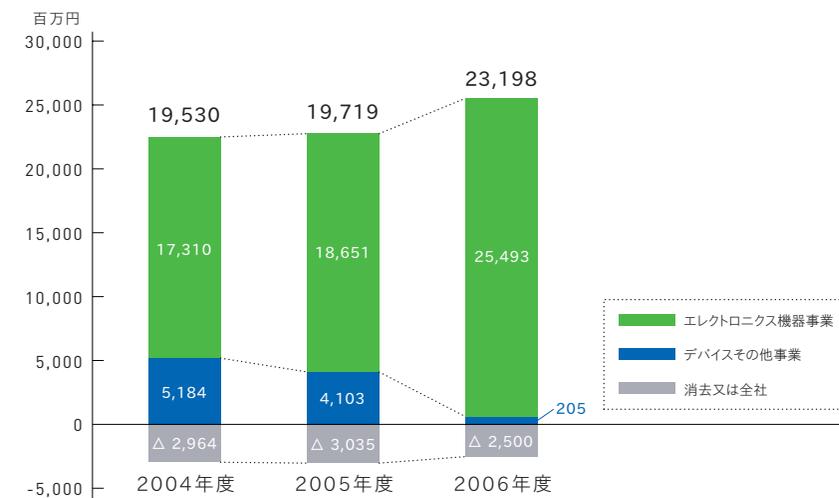
SEGMENT INFORMATION

各部門別の概況を、ご報告します。

## 売上高の部門別構成比（当中間期）



## 営業利益の概況（中間期）



## 部門別の概況（連結）

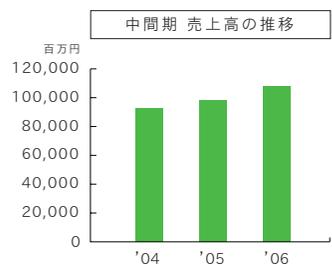
### エレクトロニクス機器事業

デジタルカメラ、携帯電話、電波時計の拡大により当中間の売上高は前年同期比で16.3%増加し、2,566億円となりました。

#### コンシューマ部門

スタイリッシュなデジタルカメラとして高い支持を得ている「EXILIM®」が、コンパクトサイズで世界初の1,000万画素を実現した「EX-Z1000」の発売や積極的な海外展開により更に拡大するなど前期に引き続き好調に推移し、売上高は、前年同期比9.3%増の1,077億円となりました。

売上高  
107,718百万円



#### 時計部門

フルメタル仕様、5モーター搭載の「OCEANUS」が好調で、日本、欧州に加え北米でも積極的に展開してきた結果、売上高は前年同期比12.5%増の376億円となりました。

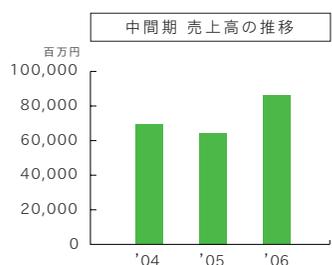
売上高  
37,685百万円



#### MNS部門

「おサイフケータイ®」や「モバイルSuica®」などの各種WINサービスを折りたたみ形状で厚さ約22ミリの薄型サイズで楽しめる「W41CA」が全キャリアを通じ売れ筋トップとなるなど、携帯電話の新製品が全て好調に推移した結果、売上高は前年同期比33.7%増の868億円となりました。

売上高  
86,829百万円

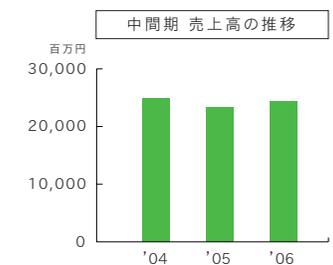


## SEGMENT INFORMATION

### 情報機器部門

総じて堅調に推移し、売上高は、前年同期比2.9%増の244億円となりました。

売上高  
24,443百万円

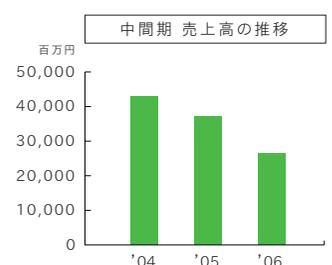


### デバイスその他事業

デバイス部門は、TFT液晶の単価下落の影響に加え、カシオマイクロニクス(株)の減収の影響から、売上高は、前年同期比26.1%減の277億円となりました。

#### デバイス部門

売上高  
27,792百万円



#### その他部門

売上高  
16,107百万円

